

## 令和4年（2022年）の白山の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

12月に山頂付近のやや深部を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その他の観測データに火山活動の活発化を示す変化は認められませんでした。

その他の期間では火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### ○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2022年の発表履歴

2022年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

### ○2022年の活動概況

#### ・噴気などの表面現象の状況（図1）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2～3）

12月31日に白山山頂（御前峰）付近のやや深部を震源とする地震が一時的に増加しました。この地震活動では、山頂付近ごく浅部を震源とする地震や低周波地震、火山性微動は観測されず、火山活動が活発化する兆候は認められませんでした。

白山では、これまでやや深部を震源とする地震の一時的な増加がみられており、今回も最大の規模であったマグニチュード2.0（暫定値）の地震発生から数時間程度で地震回数が急減していることから、同様の活動と考えられます。

その他の期間では地震活動は低調に経過しました。



図1 白山 山頂部の状況（12月12日 白峰監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図2500（行政界・海岸線）』を使用しています。

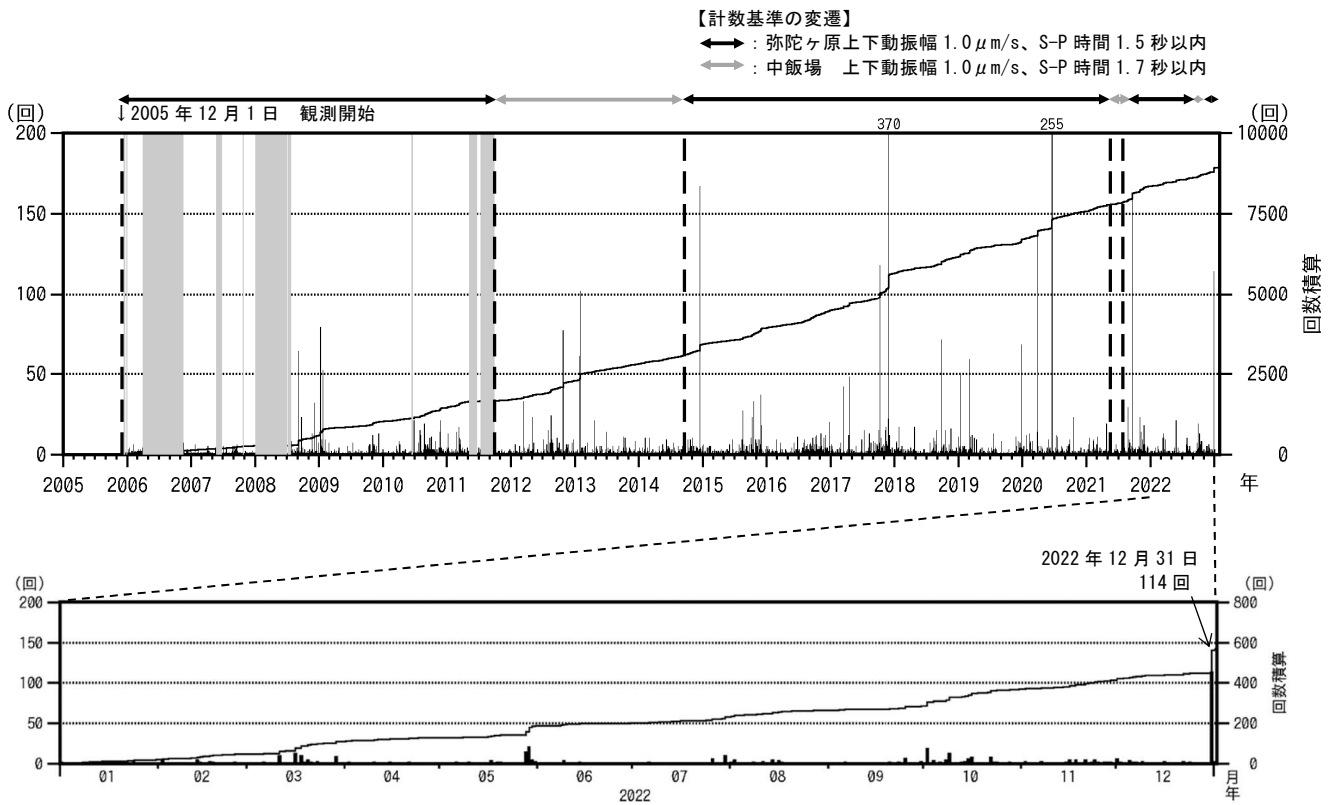


図2 白山 日別地震回数

(上段：2005年12月1日～2022年12月31日、下段：2022年1月1日～12月31日)

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

- ・12月31日、白山山頂（御前峰）付近のやや深部を震源とする地震が一時的に増加しました。
- ・白山では、これまでもやや深部を震源とする地震の一時的な増加がみられており、最近では2017年11月29日や2020年6月19日、2021年9月21日に同様の活動がみられました。今回も最大の規模であったマグニチュード2.0（暫定値）の地震発生から数時間程度で地震回数が急減していることから、同様の活動と考えられます。
- ・その他の期間では地震活動は低調に経過しました。

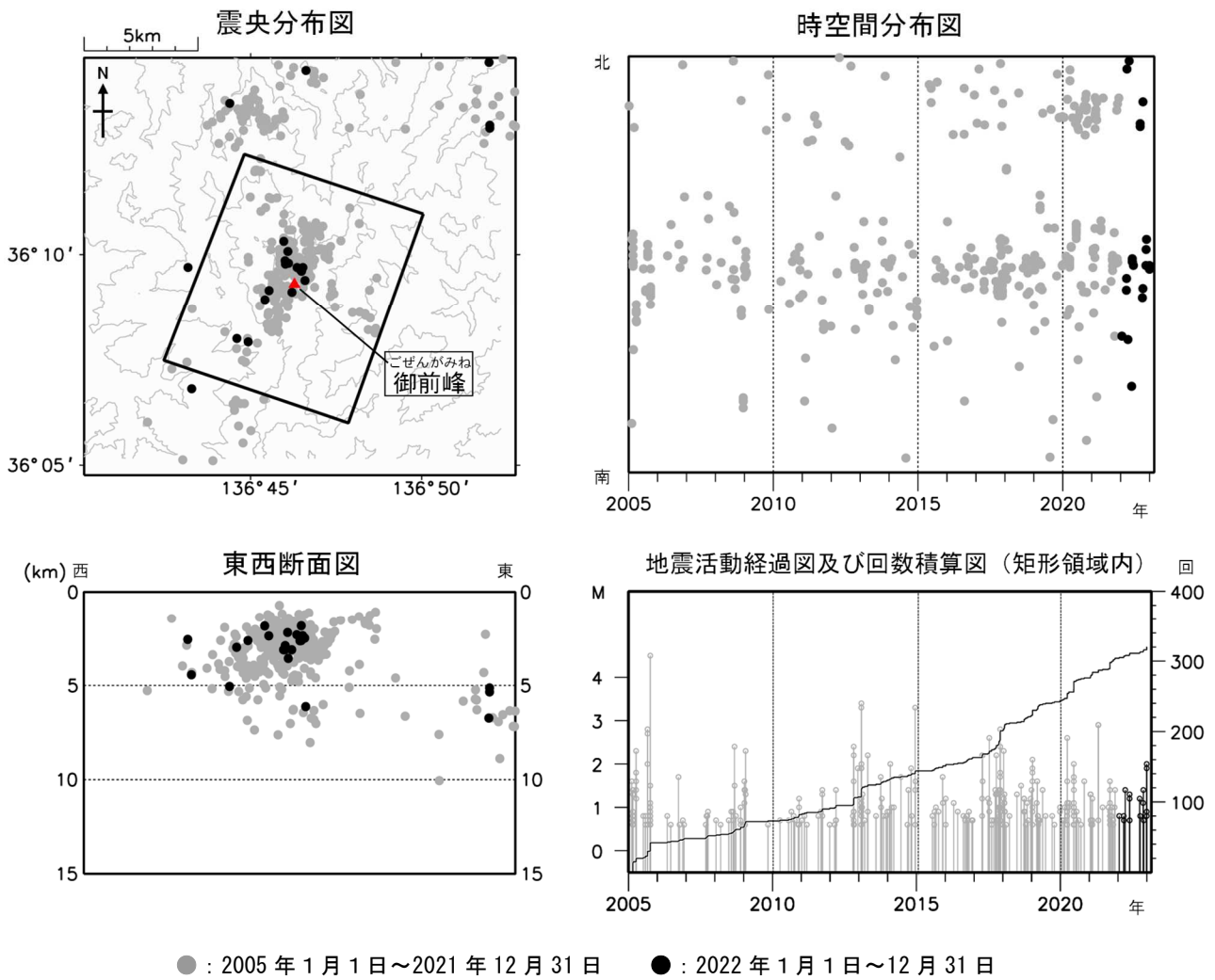
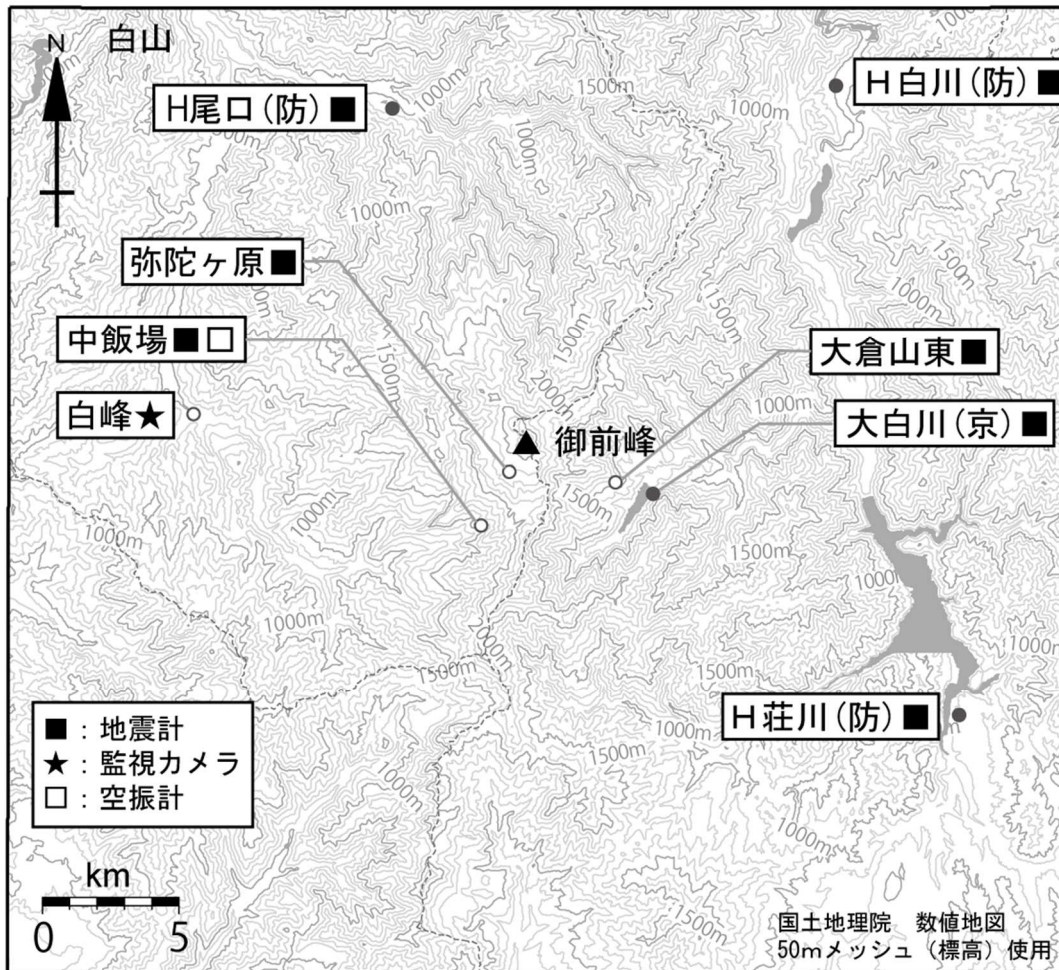


図3 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2005年1月1日～2022年12月31日）  
 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。  
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6以上の地震を表示しています。  
 図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。  
 この図では、関係機関の地震波形を一元的に処理し、地震観測点の標高を考慮する等した手法で得られた震源を用いています（ただし、2020年8月以前の地震については火山活動評価のための参考震源です）。  
 ・12月31日に、白山山頂（御前峰）付近のやや深部を震源とする火山性地震が一時的に増加しました（地震回数は114回）。  
 ・その他の期間では地震活動は低調に経過しました。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (防) : 防災科学技術研究所、(京) : 京都大学防災研究所

図4 白山 観測点配置図

表1 白山 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	弥陀ヶ原	36°08.78′	136°45.86′	2345	0	2005.12.1	
	中飯場	36°07.72′	136°45.17′	1540	0	2011.10.1	
	大倉山東	36°08.60′	136°48.45′	1603	-2	2016.12.1	広帯域地震計
空振計	中飯場	36°07.72′	136°45.17′	1540	2	2011.10.1	
監視カメラ	白峰	36°09.92′	136°38.10′	527	5	2010.4.1	